

第7回 ユニセフ・ラブウォーク in いわて 報告

岩手県ユニセフ協会10周年記念事業として、東日本大震災の年から始まったユニセフ・ラブウォーク。

5月21日(日)、快晴の空の下、盛岡城跡公園広場をスタート・ゴールに、5キロ・10キロのコースに分かれ、途上国の子どもたちのために歩きました。

出発式の進行を務めた盛岡大学2年佐藤真子さん(久慈市出身)は、東日本大震災でユニセフからの支援をうけ、「今日はがんばります!」と挨拶。県内各地からの参加者は、1才の幼児から80代の方々まで180名が世代を超え、健康な汗を額に国際協力のユニセフ・ラブウォークを楽しみました。

今年も学生の参加が60名を超え、学校でのユニセフ活動の広がりを感じます。

「友達同士楽しかった」「暑くてきつかったが、後は大丈夫だった」「昨日は子どもの運動会だった」というスタッフ。午前中に終了し完歩賞を手に三々五々解散。この日の最高気温は30.5℃でした。

参加者のご支援でユニセフ募金79,000円を日本ユニセフ協会に送金し、途上国の子どもたちのもたらされます。ウォーキング協会役員・ユニセフボランティアスタッフのみなさま、ご協力ありがとうございました。

主催：岩手県ウォーキング協会・盛岡市ウォーキング協会・岩手県ユニセフ協会



大学生の元気なエールでスタート



盛岡市ウォーキング協会小田島さんのリードでストレッチ体操



新緑の風をうけてスタート ～盛岡市の中心部を流れる中津川遊歩道に～



ゴールではおたのしみ抽選会

ユニセフ・ラブウォークは、健康づくりと募金活動を結びつけた運動です。参加料などをまとめて [開発途上国](#) の子どもたちへ贈る慈善事業で、1965年にイギリスで始まり、「日本ユニセフ・ラブウォーク協議会」は昭和58年（1983）に発足しました。